

自治と米軍基地： グリーンランド・沖縄・オロンガポ

世界中に展開されている米軍基地。その配置に、受け入れ国や自治体の意思はどこまで反映されているのだろうか。グリーンランド(デンマーク)、沖縄(日本)、オロンガポ(フィリピン)に置かれた基地をめぐる政治を考察しながら、アメリカの意思決定とローカルな声の相互作用を明らかにする。

プログラム

【第一部：発表】

趣旨説明 高橋美野梨(北海道大学)

分析視角 川名晋史(東京工業大学)

グリーンランド 高橋美野梨

沖縄 波照間陽(早稲田大学)

オロンガポ 清水文枝(国際情勢研究所)

【第二部：討論】

米国からの論点 齊藤孝祐(横浜国立大学)

ロシアからの論点 小泉悠(未来工学研究所)

日時：2019年2月8日(金) 16:00-18:30

場所：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター大会議室

主催：北極域研究共同推進拠点(J-ARC Net)

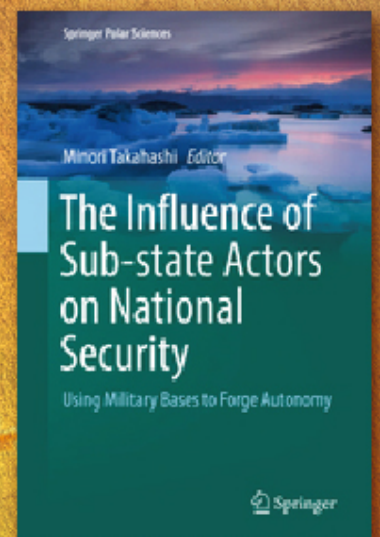
平成30年度 共同利用・共同研究

「北極域における自治と基地：視点の相対化に向けて」(研究代表者：齊藤孝祐)

「『The Influence of Sub-state Actors on National Security』成果報告シンポジウム」(研究代表者：高橋美野梨)

共催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、北海道大学北極域研究センター

※本セミナーは「The Influence of Sub-state Actors on National Security: Using Military Bases to Forge Autonomy (Springer Polar Sciences)」の出版報告を兼ねています。



事前申込不要

問い合わせ先：高橋美野梨(minoritakahashi@slav.hokudai.ac.jp)

